

そんな時、辻さんがお手伝いの人達にきりたんぼ鍋を準備して食べさせてくださいました。温かく、だしのきいた程よい味のきりたんぼを口にしたら、余りの美味しさに疲れを忘れて食べました。

還暦会で会員募集と講演を聞いて

古谷野 美千代

3日 海老名文化会館で平成30年1月1日に還暦式が行われました。

受付を終えた人に声をかけ、秋田県出身者を探しましたが、県人会の旗やポスター、パネルに貼られた行事の写真に興味を持ってくれる人はほとんどなく、足早に会場に入っていくばかりです。それでも男性2人女性1人の対象者のうち1人の入会者がありました。片づけを終えて式典会場に入り、講演を聞きました。昨年11月に続き毒蝮三太夫さんがゲスト。今年83歳、加山雄三さんと同じ歳だそうです。客席から「君といつまでも」を歌いながら登場。そのまま登壇し話を始めました。海老名には、ラジオ番組を始めた頃に来たことがあるそうで、原っぱだった景色がずいぶん都会的になったと言っていました。

いつもの毒舌を交えての話や戦時中の話の中で、ある新聞記事を紹介してくれました。ローマ法王が長崎原爆後に撮られた「焼き場に立つ少年」を教会関係者へ配布を命じ、



「これが戦争の結果」という言葉を添えたという記事です。この写真は米軍の報道写真家ジョー・オダネルが撮ったものですが、精神が苛まれるということでも自宅の屋根裏に隠しておいたものだそうです。私の父も兵隊として戦った一人です。8月18日に三沢基地から飛び立つ予定だったそうで、終戦が3日遅かったら私はこの世にいなかった、とよく話していました。

今年父の13回忌。今ある幸せは父たちのおかげです。いつまでも平和でありますようにと祈るばかりです。

秋田県の話題

男鹿のナマハゲ 無形文化遺産に申請へ



政府は国連教育科学文化機関（ユネスコ）無形文化遺産の候補として、神に扮した住民が地域を巡り歩く8県10件の伝統行事「来訪神（らいほうしん）」仮面・仮装の神々を申請することを決めた。3月中旬にユネスコへ申請書を提出、2018年11月ごろに開かれる政府間委員会の登録を目指す。登録を目指す10件は、岩手「吉浜のスネカ」、宮城「米川の水かぶり」、秋田「男鹿のナマハゲ」、山形「遊佐の小正月行事」、石川「能登のアマメハギ」、佐賀「見島のカセドリ」、鹿児島「甕島（こしきしま）のトシドン」「薩摩硫黄島のメンドン」「悪石島のボゼ」、沖縄「宮古島のパーントゥ」。この内「甕島のトシドン」は09年に無形文化遺産に登録されている。

「来訪神 仮面・仮装の神々」は、正月など年の節目となる日に仮面・仮装の異形の姿をした人が「来訪神」として家々を訪れ、新年を迎えるにあたり怠け者を戒めたり、人々に幸せや福をもたらしたりする行事。傳承されている各地域では、世代から世代へと受け継がれてきた。

日本は11年に「男鹿のナマハゲ」を第6回政府間委員会に提案したものの、すでに登録されていた「甕島のトシドン」との類似性を指摘され、「情報照会」の決定を受けた。これを踏まえ、国指定重要無形民俗文化財10件を構成要素としてグループ化し、「甕島のトシドン」の拡張提案として提案することにした。

訪日ビジネスアイ（より）

ザギトワ選手に雌の秋田犬

平昌五輪フィギュアスケート女子で金メダルを獲得したロシアのアリーナ・ザギトワ選手に日本から秋田犬が贈られることになった。



ザギトワ選手は3月3日、秋田犬の名を「マサル」とすることを明らかにした。モスクワで開かれた五輪出場選手らによるアイスショー後、報道陣に語った。ザギトワ選手は「来るのを心待ちにしています。女の子です。マサルと名付けます。日本語で『勝利』という意味ですよ」と述べた。ロシア・フィギュアスケート連盟が2月25日に発表したインタビューの

記事によると、ザギトワ選手は五輪大会前に新潟市内で調整中、雑誌に載っていた秋田犬の写真を気に入り、母親に「飼いたい」と切望。公益社団法人秋田犬保存会が贈呈の準備を進めている。「マサル」が一般的に男の名前と知ったザギトワ選手は、女の子らしい名前を再考しているという。

「イージス・アショア」 秋田が候補地に

昨年12月、政府が弾道ミサイル防衛強化に向け導入する方針の陸上配備型迎撃ミサイルシステム「イージス・アショア」について、秋田、山口両県の自衛隊施設が有力候補地となりました。

北朝鮮のミサイル開発進展を踏まえ、陸上イージスを日本海側に2基配備し、2023年度をめどに運用を開始することを目指しているもので、北は秋田市新屋演習場、南は山口県萩市むつみ演習場に配備すれば日本全土をほぼカバーできるとされています。

現時点で導入費の総額も明らかでなく2基で2000億円との概算もありますが、米国からの言い値で購入するとも言われているこのシステムの外に、1発数十億円とされる迎撃ミサイルの購入費も必要となります。

秋田県は菅房長官、山口県は安倍総理大臣の故郷でもあります。配備される地域住民の方々は、何か起きれば真っ先に攻撃されるのではと懸念し反対運動を開始しています。

秋田県を離れた私たちはなすべ無く、ただただ平和を祈るのみでしょうか。考えさせられます。